



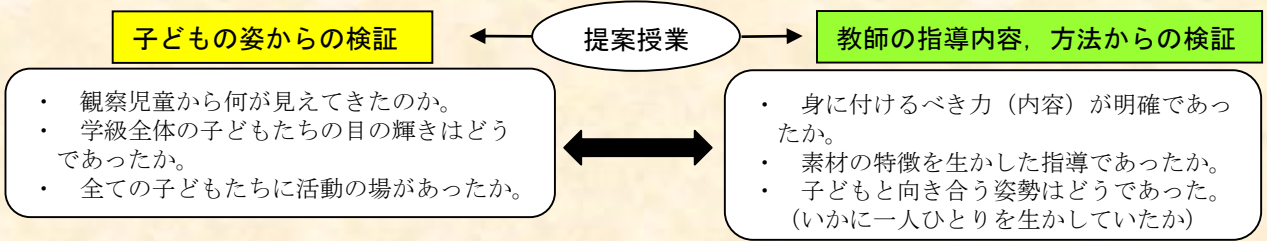
平成27年度 高知市研究協力校研究発表会

平成28年2月17日(水)

「校内研修の在り方 『提案性のある授業を ～授業改善に向けて～』」

高知市立一宮小学校

○ 研究の視点



研究主題 人とのつながりをめざす自己表現力の育成 ～国語科を通して、子ども同士をつなぐ～

【提案授業】 1年2組 教材名 「スイミー」 授業者 中村 早希 教諭
5年1組 教材名 「大造じいさんとがん」 授業者 長町 吉剛 教諭

【事後研究会】 【視点】 ○ 児童の学習状況・態度(関心・意欲・態度の変動)
○ 指導者の提案内容及び言動(板書、発問、机間指導等)

- 2グループ(A評定児童観察者・C評定児童観察者)に分かれ、目標達成に向けての授業改善点について、観察記録をもとに分析する。
- 付箋に、効果的だった手立てや改善案(助言、具体的な手立て等)を書き、観察児童の態度から見える意欲の変動を曲線で記入する。



3 グループごとに授業観察、分析したことを発表する。



4 授業観察の発表をもとに、授業学年、グループ間討議を行い、授業改善に向けての方向性を明らかにする。



講演 「授業改善に向けて授業観察を生かした校内研修のあり方」

講師：教育実践『響の会』 角田 明 会長

1 <<授業を>>『改善する』必要性を、授業者はどんなときに感じるか

- 改善するのは「自分自身」
- ・ 「今日の授業は失敗だった」… 失敗を認める気持ち ⇒ 授業改善へ

2 <<授業を>>『観察する』ための条件を考える

- 「あの子ならば、こう書くだろう」という反応の予想 = 児童生徒理解
- 児童生徒理解ができていないと、授業改善はできない
- ⇒ 授業観察を生かした校内研修 = 指導者に見えていなかった児童の姿を見る

一宮小には継続した取組を通して研究風土ができています。そのため、若い先生方も授業改善ができる。



平成27年度 新規採用・採用2年次事務職員研修の紹介

	目的	年間研修の概要(高知市単独開催のみ抜粋)
新規採用事務職員	事務職員としての自覚をもつとともに、基礎的知識の習得と実践的態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 高知市立学校職員として 高知市の教育課題について 教育公務員としての心構え 事務職員の服務 学籍、就学援助、学校予算についての概要 服務、文書、財務について
採用2年次事務職員	学校事務職員としての専門知識と態度を養うとともに、円滑に学校事務が遂行できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 高知市の教育課題 公文書の作成 事務年間計画 講義、演習(予算、旅費、給与、諸手当、学籍、就学援助、福利厚生、教科書等)

研修【グループ協議】「一年間を振り返って(今年度のまとめ)」(研修の記録から一部抜粋)

子どもたちの学びを支援する学校事務をめざして

研修について、心に残ったこと、勉強になったこと

- 電話対応、来客マナー等のビジネスマナーがとても勉強になった。私たちの対応が学校の顔・一番の窓口になることを意識することができた。
- 予算執行における課題を学ぶことができた。私費と公費を執行する際の原則をもとに、最善の判断ができるようになりたい。
- 学籍事務においては、児童生徒の心的ケアや保護者への財政的支援(就学援助)等、事務職員として相手の立場を大事にしながら保護者との信頼関係を構築していくことが重要だと感じた。
- 全ての子どもに教育を受ける権利があること、家庭の経済状況によって教育の格差があってはならないことを強く感じた。そのためにも情報収集をして、教職員に制度に対する理解を深めてもらえるようさまざまな提案をしていきたい。



学校事務職員の役割

学校経営に学校事務の専門職(行政的視点)として参画し、豊かな学びが成立できるように寄与する

「学校経営に参画する」とは?

公教育としての学校経営が滞りなく行えるよう、組織に事務職員の立場から、経営に必要な情報の提供、企画、実践、報告をしていくこと

学校経営参画の目的

子どもたちが健やかに社会に巣立っていくことのできる環境をつくる

(学校教育目標に向かって他の教職員とベクトルを同じくして学校経営に参画する)



学校事務職員として思うこと、できること、考えたこと

- 児童生徒の学びの場をよりよくしていくための職場環境をつくるのが事務の仕事だと思った。教職員とは違う目線・立場で関わってあげたらと思った。
- 授業を見学し、有効活用できる物品等について、事務職員の視点で提案していきたい。

仕事をするうえで頑張ったこと、悩んだこと

- 教職員や児童生徒とコミュニケーションを図ろうと頑張った。
- 相手の立場にたって考えること、気持ちに寄り添うことは難しいが、些細な会話からも児童生徒や家庭の状況を汲み取ることができると、保護者対応等に生かせるのではないかなと思う。

自立に向けて(来年度への抱負、取り組みたいこと)

- コミュニケーションや情報収集・環境整備等、理想と現実のギャップがまだまだあるが、前をしっかりと見据えて計画的に取り組むたい。
- 学校経営に積極的に参画できるだけの知識も身に付けたい。
- 失敗をしてもそれをチャンスと思い、次に生かせる努力を怠らないようにしたい。



総括主任からのエール

「志は高く！実践は足元から！」